

情報源

◆テレビ、ラジオ、市町村から正しい情報を知ってください。

◆インターネットラジオ日本オンラインでは、NHKのニュースが多言語で聞けます。https://jpradio.jp

◆外国語相談の窓口

・堺市立国際交流プラザ

072-228-7499 (土・日祝休み)

※電話がかからないときは、堺市国際課にかけてください。

072-222-7343 (土・日祝休み)

・大阪府外国人情報コーナー

06-6941-2297



緊急地震速報・安否確認

① 緊急地震速報

◆緊急地震速報は、地震による強い揺れが来ることを少し前に伝える情報です。緊急地震速報が出たときは、周りを見て、あわてずに身を守ってください。

② 安否確認

◆災害伝言板【Web171】

大きな地震が起きたとき、スマートフォンやパソコンを使ってメッセージを残したり、確認したりできます。

※詳しくは、「安否確認サービスの使い方」を見てください。

◆災害伝言ダイヤル【171】(日本語のみ)

大きな地震が起きたとき、固定電話を使ったメッセージを残したり、聞いたりできます。

Osaka Safe Travels

◆災害時などに必要な情報が届くアプリです。

◆地図やGPSを使って、避難所(逃げるところ)や電車の情報を見ることができます。アプリをインストールすれば、地震がきた時、情報を知ることができます。

◆対応言語(12言語)

日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語

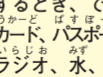
◆避難するとき、できる限り荷物は少なくしてください。

在留カード、パスポート、現金(小銭含む)、キャッシュカード、預金通帳、携帯ラジオ、水、食べ物、着替え、懐中電灯、充電器など。



App Store

Google play



避難

① 避難所(逃げるところ)に行きます。

◆住んでいる家が壊れたり、火災がおきたり、危ないときに逃げる場所です。お金はいりません。

◆小学校や中学校の体育館が避難所になるので、家の近くの避難所に行き、場所を知ってください。

◆避難所では、食べ物、水、情報(お知らせ)がもらえます。

◆避難所には、歩いていきます。車は使わないでください。

② 逃げるときに持っていくもの。

◆避難するとき、できる限り荷物は少なくしてください。在留カード、パスポート、現金(小銭含む)、キャッシュカード、預金通帳、携帯ラジオ、水、食べ物、着替え、懐中電灯、充電器など。

大雨・台風

① 集中豪雨(ゲリラ豪雨)

◆ひとつの場所に、突然たくさんの雨が降ります。

◆海や川の水が街や家の中に入ったり、山の土が流れたり危険です。海、川、山の近くに住んでいる人は近づかないでください。

② 台風

◆強い風が吹き、たくさんの雨が降って危ないです。

◆日本には毎年夏から秋にたくさんきます。

◆台風が来る前に、次のことをしてください。

○窓に鍵をかけて、雨戸を閉めて守る。

○外にあるゴミ箱や植木は固定するか部屋の中に入れる。

◆避難勧告や避難指示が出たら、避難所に逃げてください。

地震がきたら

① 自分の体を守ります

◆【建物の中】物が落ちてきます。机やテーブルなどの下へ逃げてください。

◆【電車の中】つり革や手すりにつかまってください。係員が話すことを守ってください。

◆【建物の外】窓ガラスや看板などが落ちて危ないです。広い場所に逃げてください。

② 揺れが止まったら

◆火事が起きないようにガスの元栓を閉めてください。

◆あわてずに、周りを見て、必ず靴を履いて逃げてください。

◆余震(後からくる地震)に気をつけてください。

津波

◆津波は、地震の後に来るとも高い波です。

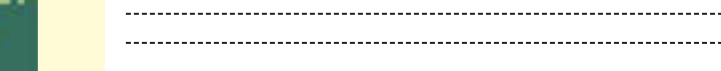
◆海から遠い所にも津波はきます。一度でなく何度もくるので、絶対に海に近づかないでください。

◆とても大きな地震(南海トラフ巨大地震など)が起きると、約100分ではじめの津波が堺市に来ます。JR阪和線(三国ヶ丘駅、上野芝駅、津久野駅など)より東へ逃げてください。

◆遅れたときや遠くまで逃げるのができないときは、津波避難ビルなど、高いところに逃げてください。

津波避難ビルにはこのマークがあり

ます。



参考資料 4 (裏)

めもらん